

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で **5細胞/mL** 確認されました。ヒロウラ漁場及び栄喜付近でコクロディニウム ポリクリコイデスが増殖傾向にありましたので、海色等に十分注意してください。また、カレニア パピリオナセアが最大で1細胞/mL 確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒原因種のギムノディニウム カテナータムが最大で21細胞/mL 確認されました。

※（本日は、海水1mLでプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (9:00~11:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*1	*3
ヒロウラ 下図①	0	-	-	-	0	0	0	0
	5	-	-	-	0	0	0	0
	10	-	-	-	0	0	0	0
栄喜 下図②	0	-	-	-	0	0	0	0
	5	-	-	-	1	0	0	0
	10	-	-	-	0	0	0	21
青瀬山 下図③	0	-	-	-	0	0	0	0
	5	-	-	-	5	0	1	0
	10	-	-	-	0	0	0	0

*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

*2：魚類を弱らさせるおそれがある種、*3：麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

